

科目番号	37003	分類	助産学実践領域	履修者	助産学専攻科	学年	1
科目名	周産期の生理と病態 Physiology and Pathology at the Perinatal Period						1
							担当セメスター
							通年
担当者	米山万里枝 / 島田祥子 / 非常勤 (医師)			区分	必修	単位	2
						時間数	30
<b>講義の目標および概要</b>							
<p>妊娠・分娩・産褥という生殖（種族保存）に必要な生理的現象とその異常を学び、正常からの逸脱の発見に必要な医学的診断の原理を学修する。更に、ハイリスクへの対応（救急処置）、産科手術・麻酔・産科薬物について学習する。胎児・未熟児・新生児の発育の過程、児の障害・疾病時の治療や検査、新生児健康診査のための身体的観察法、臨時応急の措置（蘇生術）に必要な知識を学ぶ。</p>							
<b>授 業 計 画</b>							
1回	周産期における生理と病態 妊娠・分娩・産褥期の解剖・生理						
2～10回	周産期における疾患と病態とその管理 ・妊娠に起因する疾患と病態 産科合併症（妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、早産、Pretermの前期破水、弛緩出血等） ・循環器・呼吸器系疾患、腎臓および尿路系疾患、内分泌・代謝疾患、自己免疫疾患） ・感染症 ・精神疾患と病態（含、産前後のうつ病・マタニティブルーズ・産褥精神病） ・産科手術および産科的医療処置（含、麻酔、裂傷縫合術） ・産科危機的出血 ・新生児・乳幼児期の成長と発達 健康診査、予防接種 ・新生児・未熟児の疾患      新生児蘇生法含む						
11～12回	不妊症とその診断・治療（生殖補助医療、検査など含む）						
13回	周産期チーム医療						
14回	周産期と法医学						
15回	まとめ						
成績評価の方法	試験（80%）、課題レポート（10%）演習参加度評価、演習参加態度等（10%）にて総合的に評価する。						
テキスト	吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト第2巻 2017年版 日本看護協会出版会（ISBN: 978-4-8180-2022-1） 森恵美編：助産師基礎教育テキスト第4巻 2017年版 日本看護協会出版会（ISBN: 978-4-8180-2024-5） 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト第5巻 2017年版 日本看護協会出版会（ISBN: 978-4-8180-2025-2） 横尾京子編：助産師基礎教育テキスト第6巻 2017年版 日本看護協会出版会（ISBN: 978-4-8180-2026-9） 遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト第7巻 2017年版 日本看護協会出版会（ISBN: 978-4-8180-2027-6） 馬場一憲編：目でみる妊娠と出産 文光堂（ISBN: 978-4-8306-3122-1） 武谷雄二他編：プリンシプル産科婦人科学 1 婦人科編 第3版 メジカルビュー（ISBN: 978-4-7583-1219-6） 武谷雄二他編：プリンシプル産科婦人科学 2 産科編 第3版 メジカルビュー						

	<p>(ISBN:978-4-7583-1220-2)</p> <p>日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編:産婦人科診療ガイドライン (産科編 2017) 日本産科婦人科学会</p> <p>仁志田博司:新生児学入門第4版 医学書院 (ISBN978-4-260-01433-5)</p> <p>細野茂春監修:日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく 新生児蘇生法テキスト メジカルビュー社 (ISBN:978-4-7583-1732-0)</p>
参考図書	
備考	<p>助産実践のために必要な知識を習得する。助産技術のエビデンスとなる科目であるため確実に学びを定着させておくことが必須である。</p> <p>受胎調節実地指導認定に必要な科目としても取り扱っている。</p>